

令和 7 年度

医療・介護連携における情報共有ツールの活用状況について

1. アンケート調査実施の概要について

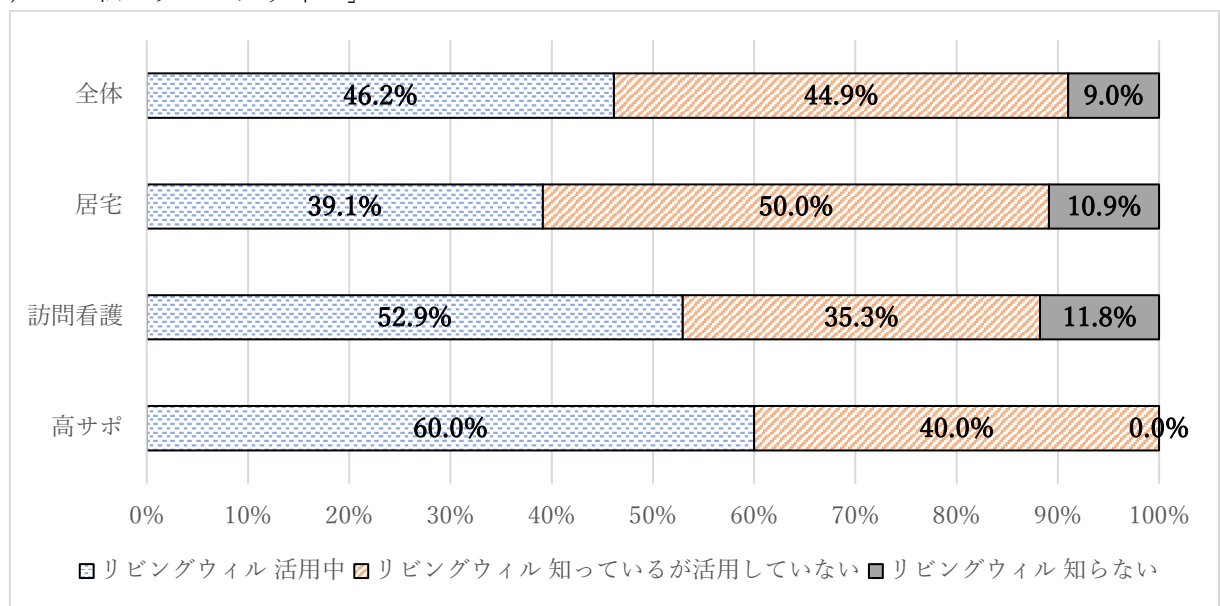
実施時期 令和 8 年 4 月

回答数

居宅介護事業所	46 ケ所（調査対象：160 ケ所）
訪問看護ステーション	17 ケ所（調査対象：36 ケ所）
高齢者サポートセンター	15 ケ所

2. 活用状況に関するアンケート結果について

(1) 「私のリビングウィル」



【活用していない理由】

■ 居宅介護支援事業所

- ・ 住宅型有料老人ホームの場合、ホーム用の別の書面で対応。
- ・ 利用者や御家族に、気軽に薦めづらい。
気分を害する方（本人が良くても家族が嫌がる）もいて慎重になる。タイミングが難しい。
- ・ 先生や看護師が持参するイメージ。あまりケアマネジャーからは提案していない。
面談時に意向として確認することはあるが、書面には残しにくい（同内容他 5 件）
- ・ 市民、専門職ともに情報提供が進んでいないように思う
- ・ 訪問診療医による確認が適切と感じている。確認後の情報を共有してほしい。
- ・ 主治医より積極的な働きかけがあり、おおむね活用できている。
訪問看護師が介入している方は丁寧な説明がされている

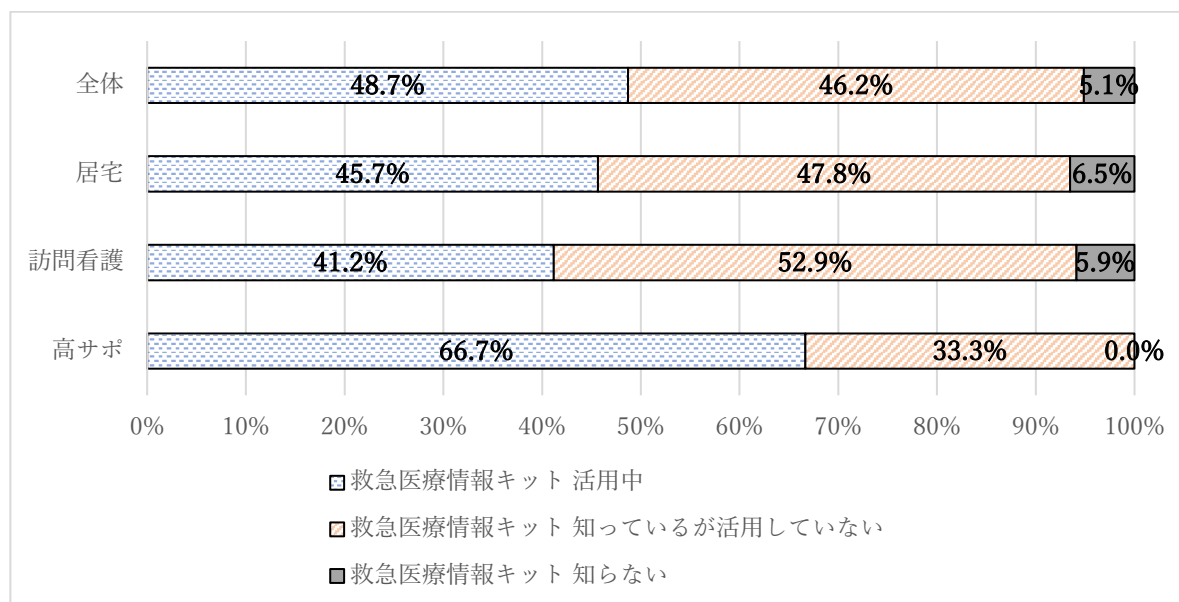
■訪問看護事業所

- ・可能な範囲で記載し、主治医（主に訪問診療医）と共有している
- ・契約時に用紙を渡し、説明するも記入までは至らず（同内容他 1 件）
- ・こちらからの説明も含め、利用場面に悩むことが多い
- ・以前使用していたが、内容がそぐわないと言われたことが数回ある

■高齢者サポートセンター

- ・訪問診療や訪問看護師が介入時にリビングウィルを聴取しているため、高サポから勧めることはない。家族介護教室等で看取りをテーマにした際に紹介をしている
- ・訪問診療開始時に活用
- ・家族介護教室などで紹介はしているが、積極的に活用はしていない
- ・市のホームページ上で「私のリビングウィル」にたどり着くまでが煩雑、わかりにくい。

（2）救急医療情報キット



【活用していない理由】

■居宅介護支援事業所

- ・内容の更新を誰がするのか、ケアマネジャーには負担が大きいと感じる（同内容他 1 件）
 - ・実際搬送された際に救急隊は活用しなかった。周知されているのだろうか
 - ・利用者からの評判がよくない
 - ・情報の更新ができていない方がいる
 - ・統一を求める場所保管では、認知症の方は目に付くと気になり、紛失してしまうこともあり、個人情報の取扱いがかなり不安
 - ・処方薬の内容が変更になった際に、家族が薬の入れ替え等に対応ができないケースがある。
- マイナンバーカードの保険証利用登録（マイナ保険証）の有無を記載する欄があれば、マイナ保険証を利用している方については、より直近で正確な情報を確認しやすくなるのではないかと。

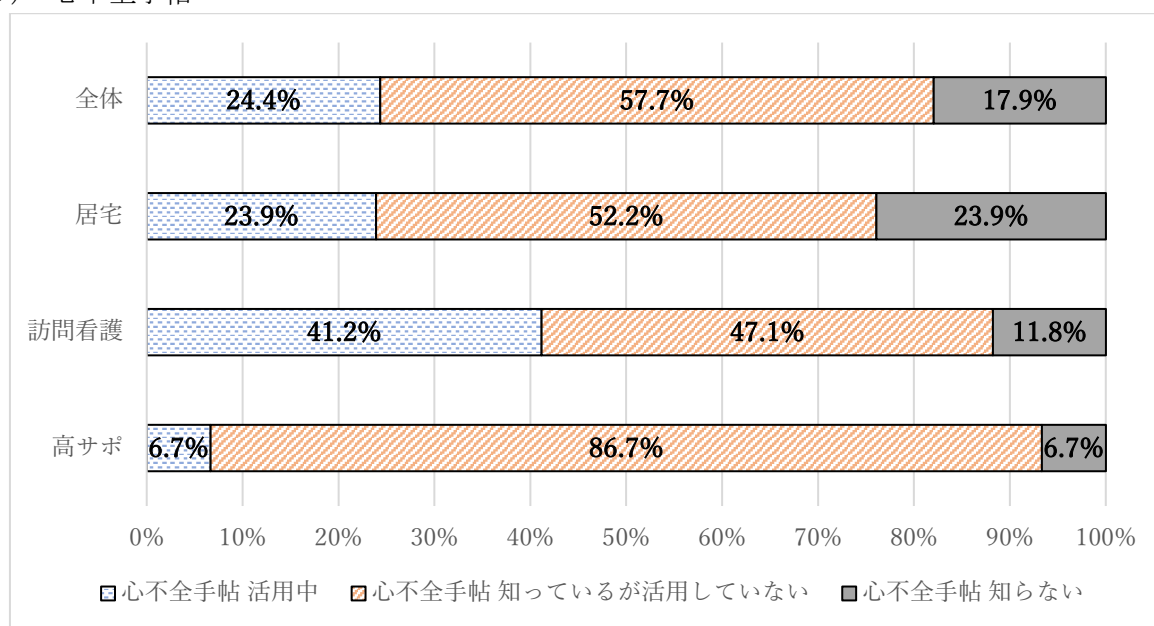
■訪問看護事業所

- ・訪問看護が入っている場合、救急搬送時にその場で情報共有することが多く、上手く利用できていない。
- ・過去、何人かに設置したが、設置後の管理に困難を感じる。
- ・救急医療情報キットの更新ができていない。（特に薬剤情報）誕生日などを機会に見直す事をスタッフに提案してみようと思う
- ・以前使用していたが、内容がそぐわないと言われたことが数回ある

■高齢者サポートセンター

- ・どの程度救急搬送の際に活用しているのか分からないため活用に消極的になっている。活用状況を知りたい
- ・R7年度は口コミで広がり利用希望者が多く、救急医療情報キットを何人かに渡した
- ・救急医療情報キットは地域の方には、ほとんど周知されていないと感じる。高サポの講座で紹介したところ、希望者が数人来所した。需要はあると思う。市での周知啓発方法も検討していただきたい。75歳以上には基本的に配布するなどの取り組みをしても良いのではないかと。
- ・救急医療情報キットは災害時や緊急時に活用できるものとする。65歳以上に限定せず、希望される方に配布可能とするのはいかがか。
- ・救急医療情報キットは見守り支援事業などの話題が出た際に紹介することはある。市のホームページにPDFで説明が記載されるようになったが、あまり目立っていない。（介護・医療関係者のページだと本人が辿り着けない）ハートページの中に情報が載っていればより紹介しやすい。

（3）心不全手帖



【活用していない理由】

■居宅介護支援事業所

- ・該当患者に病院から配布されるため、自宅訪問時に確認ができている
- ・この手帳を使用しなければならない状況に遭遇していない（同内容他7件）
- ・医師や看護師が確認することが多いので、こちらからすることがあまりない

- ・以前大木先生の研修で配られ、大変使いやすい物と思った。病院で該当患者に交付しているのか、ケアマネが入手する方法は分からない

■訪問看護事業所

- ・病院からもらって記載している利用者があり、自身で記載できる利用者さんについては活用できているが、自身や家族で日々ノートに記載することが難しい利用者さんも多い（同内容他 1 件）
- ・ご自身で提示していただける方に関しては見ているが、こちらから確認はしていない。
- ・受診時に持って行っても見てもらえないので、ご本人もやりたがらない。

■高齢者サポートセンター

- ・医療機関での配布と認識している。利用者から提示されたこともないので活用はない
- ・対象の方は基本的に病院から指導を受け使用している（同内容他 5 件）
- ・その方の具体的な病状、検査データなど知らない高サポではお勧めしにくい。センター内に常備がない